



北へ——東京楡の会総会によせて

北海道札幌北高等学校校長 武内 光一（北高10期）

梅雨の晴れ間に、梔子の花が一際白く輝く季節になりました。20世紀最後の「東京楡の会」総会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

最初に自己紹介をさせていただきます。

札幌北（10期）→北大→函館北（教諭）→札幌北陵→道教委→札幌北（教頭）→道教委→名寄恵陵（校長）→留萌→恵庭北→札幌北

以上が高卒以降の私の略歴です。道教委時代は別として、不思議に北の付く学校に縁がありました。名寄、留萌の2校は、所在地が道北ブロックですので、これも北の範疇に入ると考えております（少し強引ですが）。

また、妻（11期）、長男（38期）、長女（40期）も北高にお世話になりましたので、この4月に第22代の校長として発令された際には、家族全員で喜んでくれました。

私と致しましても、母校の校長として教職人生の終わりを全うできますことは、この上ない光栄であり、幸運なことだと考えております。

さて、正に20世紀の初頭に呱呱の声をあげたわれらが母校は、当然のことながら21世紀（2002年）には、100年という大きな節目の時を迎えることとなります。

1世紀の時の流れは、北海道内はもとより国の内外で活躍する4万名に至らんとする有為の人材を輩出して参りました。また、庁立高等女学校以来の歴史と伝統も脈々として今日に伝えられております。

今や、全国でも有数の進学校となった北高ですが、さらなるレベルアップを図るとともに部活動や生徒会活動、学校行事等の一層の充実を図り、心豊かにたくましく生きる「真のエリート」の育成を目指しております。

後輩でもある生徒のために、微力ではありますが、渾身の力を奮って頑張りたいと思いますので、一層のご支援をお願い申し上げます。